

第 155 回 日本循環器学会東北地方会

プログラム

会 期：平成24年12月 8 日(土)午前 8 時55分より

会 場：仙台国際センター

仙台市青葉区青葉山 TEL 022 (265) 2211

第 1 会場：橘（2 F）

第 2 会場：萩（2 F）

第 3 会場：白檀 1（3 F）

第 4 会場：白檀 2（3 F）

会長 久保田 功

事務局：山形大学医学部内科学第一講座

山形市飯田西 2－2－2

TEL 023 (628) 5302 FAX 023 (628) 5305

○当日受付にて参加費のお支払いをお願いいたします。

（医師 3,000円、コメディカル 1,000円、学生・初期研修医 無料）

○一般演題：発表時間は 5 分（予鈴 4 分）、追加討論 2 分、YIAの発表時間は 7 分（予鈴 6 分）、追加討論 3 分とします。時間厳守をお願いします。

●コンピュータープレゼンテーションによる発表のみとします。

●Windows版Power Point2000、2002、2003、2007、2010で作成して下さい。

●動画は使用できません。

●Macintosh及び持込PCでの発表はできません。

●発表30分前までに、作成したデータをUSBメモリーにいれてPC受付にお持ち下さい。

●データのファイル名には演題番号（半角）に続けて発表者の氏名（漢字）を必ず付けて下さい（例：10山形太郎.ppt）。

●不測の事態に備えて必ずバックアップデータをお持ち下さい。

※35mmスライドによる発表はできません。

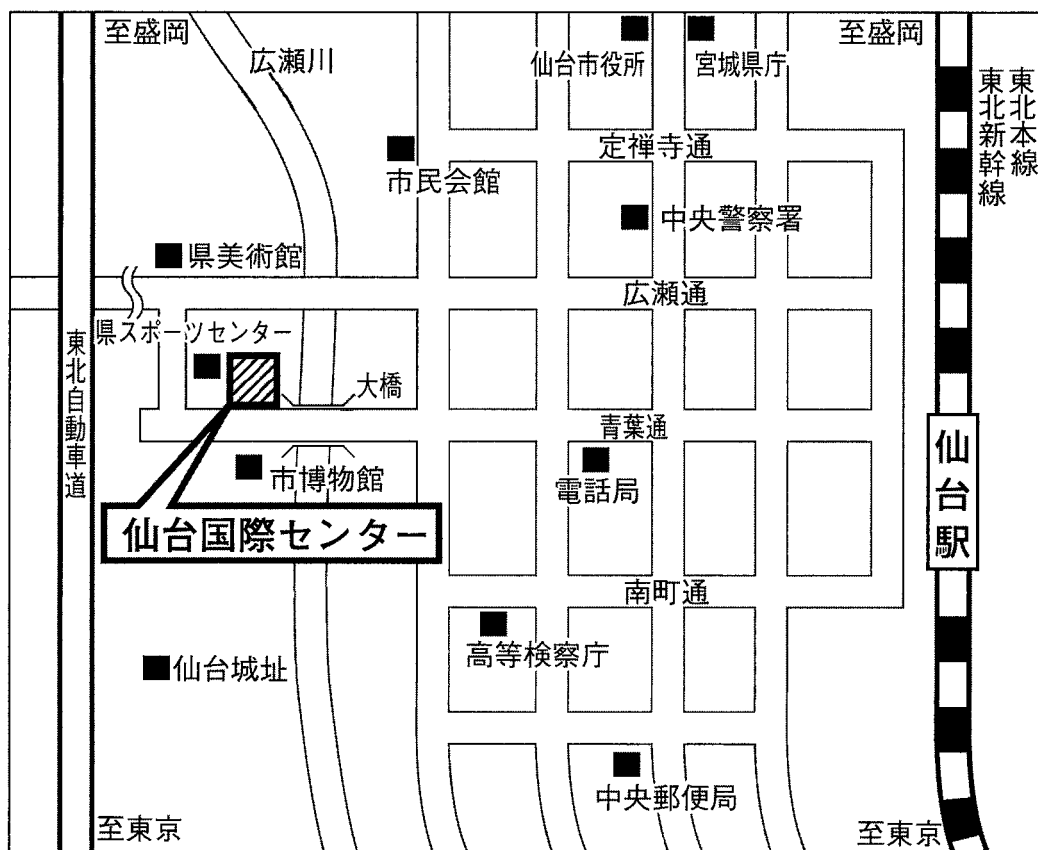
○学術集会（5単位）、教育セッション（3単位）とします。

○DVDセッション「医療安全・医療倫理に関する講演会」を2 F 小会議室 4で行います。

専門医認定更新に必修の2単位が取得できます。（P28参照）

追記：学会案内状・プログラムは、原則として日本循環器学会会費納入者に限り発送いたします。

会場へのアクセスマップ

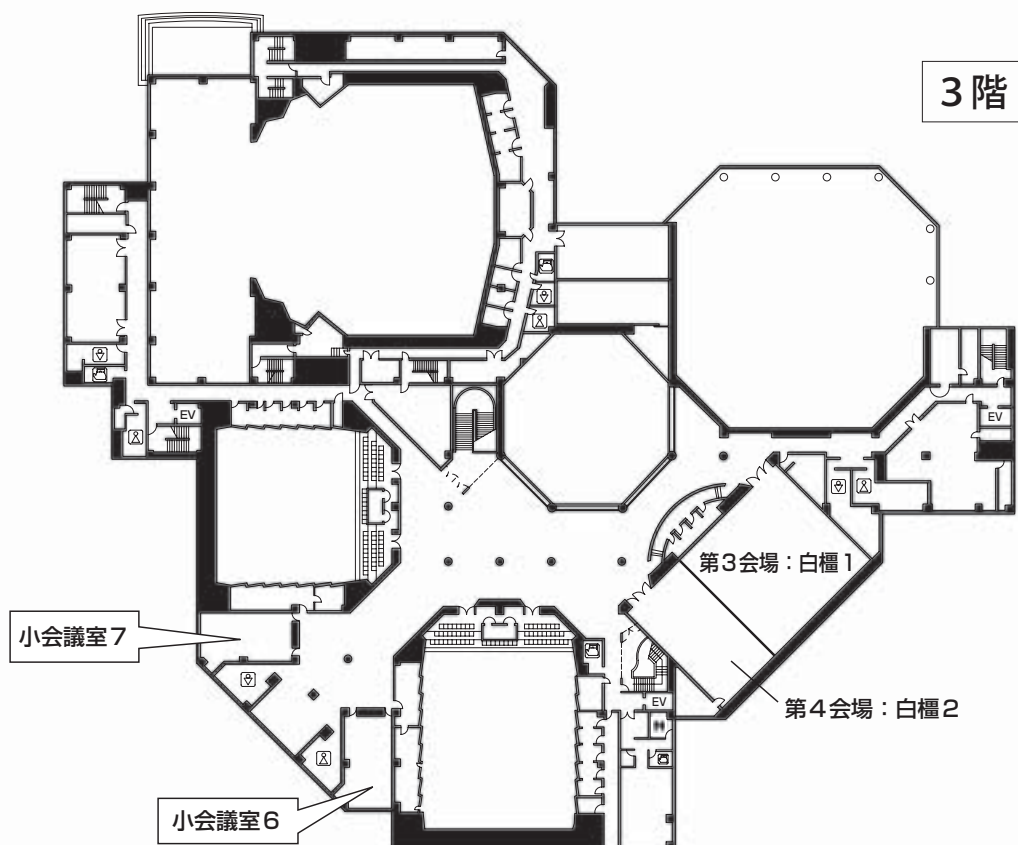
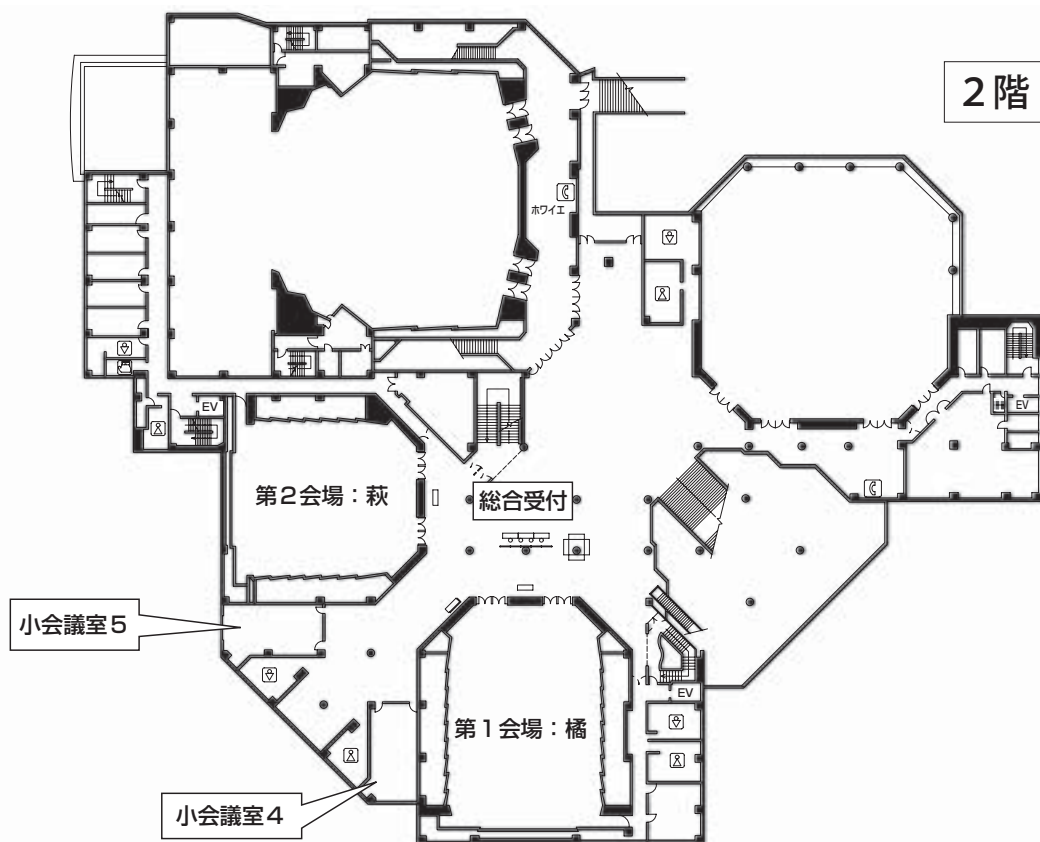


会 場：仙台国際センター 〒 980-0856 仙台市青葉区青葉山
TEL：022-265-2211 FAX：022-265-2485

【仙台国際センターまでの交通機関】

- バス・乗 車：仙台駅前（西口バスプール 9 番乗り場）
「W8-2 宮教大」, 「W8-3 青葉台」, 「W8-4 成田山」,
「W7-1 青葉通経由青葉城址循環」
降 車：「博物館・国際センター前」（徒歩 1 分）
所要時間：約 10 分
- 乗 車：仙台駅前（西口バスプール 16 番乗り場）
「W9-3 広瀬通り経由交通公園」, 「W9-4 広瀬通り経由交通公園循環」
降 車：「二高・仙商前」（徒歩 5 分）
- タクシー 仙台駅より所要 約 7 分 / 料金 1,000 円程度
- 自家用車 東北自動車道仙台宮城 I.C. から所要 約 5 分
（仙台西道路経由：「仙台城」方面の標識に従ってご走行ください）

会場案内図



プログラム（敬称略）

第1会場 2F 橘	第2会場 2F 萩	第3会場 3F 白檀1	第4会場 3F 白檀2	小会議室4 2F	小会議室5 2F
8:30 受付開始					
8:55~9:00開会挨拶 会長：久保田 功 （山形大学）					
9:00~9:50 YIA症例発表部門 座長 久保田 功 （山形大学）	9:00~9:35 虚血性心疾患Ⅰ 座長 伊藤 健太 （東北大学）	9:00~9:35 不整脈Ⅰ 座長 鈴木 均 （福島県立医科大学）	9:00~9:35 弁膜症・心奇形 座長 宮脇 洋 （山形市立病院済生館）	9:00~10:30 DVDセッション 「医療安全・医療倫理 に関する講演会」	
	9:35~10:10 虚血性心疾患Ⅱ 座長 宮下 武彦 （山形大学）	9:35~10:10 不整脈Ⅱ 座長 有本 貴範 （山形大学）	9:35~10:17 心筋炎・心筋症Ⅰ 座長 花田 裕之 （弘前大学）		
9:50~10:40 YIA研究発表部門 座長 久保田 功 （山形大学）	10:10~10:45 虚血性心疾患Ⅲ 座長 飯野 健二 （秋田大学）	10:10~10:52 不整脈Ⅲ 座長 佐藤 嘉洋 （岩手医科大学）	10:17~10:59 心筋炎・心筋症Ⅱ 座長 野崎 英二 （岩手県立中央病院）		
10:40~11:15 大動脈疾患 小松 宣夫 （太田西ノ内病院）	10:45~11:13 動脈疾患・静脈疾患 座長 齋藤 修一 （福島県立医科大学）	10:52~11:20 心内膜炎 座長 長内 智弘 （弘前大学）	10:59~11:34 心不全 他 座長 渡邊 博之 （秋田大学）		10:40~11:15 YIA審査会 集 計（10:40~11:00） 審査会（11:00~11:15）
11:15~11:43 肺高血圧症 他 座長 福本 義弘 （東北大学）				11:20~11:30 心肺蘇生法普及委員会	
11:55~12:35 総会・YIA授賞式					
12:40~13:40 教育セッション1 ランチョンセミナー1 中谷 敏 大阪大学大学院医学系研究科 保健学科機能診断学 座長：伊藤 宏 （秋田大学）	12:40~13:40 教育セッション2 ランチョンセミナー2 長坂昌一郎 自治医科大学 内分泌代謝科 座長：竹石 恭知 （福島県立医科大学）				
13:40~14:40 教育セッション3 特別講演 玉木 長良 北海道大学病態情報学講座 核医学分野 座長：久保田 功 （山形大学）					

* 平成24年度より、総会は支部評議員により構成し、審議されます。
従来通り一般会員の先生方のご参加は可能ですが、議決権は有しません。

YIA症例発表部門（第1会場） 9：00～9：50

座長 久保田 功

01 右心不全の原因となった未破裂弓部大動脈瘤の一例

秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学

○新保 麻衣、渡邊 博之、木村 俊介
石田 大、伊藤 宏、
同上 心臓血管外科 山本 文雄

02 左内胸動脈－肺動脈瘻による肺高血圧症に対してカテーテル塞栓術が有効であった1症例

弘前大学 循環呼吸腎臓内科

○横山 公章、樋熊 拓未、西崎 公貴
花田 賢二、越前 崇、横田 貴志
斎藤 新、阿部 直樹、花田 裕之
長内 智宏、奥村 謙

03 薬剤溶出性ステント留置冠動脈に生じた難治性冠攣縮にRho-kinase阻害薬が著効した1例

東北大学 循環器内科学

○羽尾 清貴、高橋 潤、二瓶 太郎
圓谷 隆治、白戸 崇、伊藤 愛剛
松本 泰治、中山 雅晴、伊藤 健太
下川 宏明

04 右心不全と肺高血圧を合併したCrow-Fukase症候群の1例

福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座

○横川 哲朗、中里 和彦、菅野 優紀
水上 浩行、小林 淳、義久 精臣
鈴木 均、斎藤 修一、小川 一英
竹石 恭知

05 不整脈原性右室心筋症の診断5年後にFDG-PETで心サルコイドーシスが判明した一例

山形大学 第一内科

○石野 光則、有本 貴範、宮下 武彦
平山 敦士、佐藤 知佳、安藤 薫
石垣 大輔、和根崎真大、舟山 哲
屋代 祥典、田村 晴俊、西山 悟史
高橋 大、穴戸 哲郎、宮本 卓也
渡邊 哲、久保田 功

- 06 冠動脈疾患でのmicroRNAによるSIRT1の発現制御に関する研究：スタチンによる無作為比較臨床試験による検討

岩手医科大学 心血管・腎・内分泌内科

○田渕 剛、佐藤 衛、伊藤 智範
中村 元行

- 07 メタボリック症候群を有する心不全患者ではobesity paradoxは存在しない

山形大学 第一内科

○成味 太郎、渡邊 哲、門脇 心平
大瀧陽一郎、本多 勇希、本田晋太郎
長谷川寛真、西山 悟史、高橋 大
有本 貴範、穴戸 哲郎、宮下 武彦
宮本 卓也、久保田 功

- 08 急性心不全入院中のBUN増加は長期予後を予測する

東北大学 循環器内科学

○三浦 正暢、坂田 泰彦、後岡広太郎
高田 剛史、高橋 潤、下川 宏明

大崎市民病院 循環器内科 平本 哲也

みやぎ県南中核病院 循環器内科

井上 寛一

岩手県立中央病院 循環器科 田巻 健治

- 09 慢性腎臓病は左室拡張能を低下させる独立因子となる：負荷心筋SPECTによる検討

秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学

○佐藤 和奏、小坂 俊光、小熊 康教
小山 崇、寺田 豊、石田 大
飯野 健二、渡邊 博之、伊藤 宏

- 10 可溶型APP770は急性冠症候群の新規バイオマーカーとなる

福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座

○益田 淳朗、八巻 尚洋、及川 雅啓
義久 精臣、鈴木 均、斎藤 修一
竹石 恭知

大動脈疾患（第1会場） 10：40～11：15

座長 小松 宣夫

11 ハイリスク遠位弓部大動脈瘤に対して開窓型血管内ステント(Najuta)を使用した2例

仙台循環器病センター 心臓血管外科

○細田 進、磯村 彰吾、椎川 彰

東京女子医科大学病院 心臓血管外科

東 隆、横井 良彦

12 Valsalva洞動脈瘤、僧帽弁閉鎖不全症および胸部下行大動脈瘤の合併例に対するハイブリッド一期的手術の1例

福島県立医科大学 心臓血管外科

○瀬戸 夕輝、佐戸川弘之、高瀬 信弥

三澤 幸辰、若松 大樹、黒澤 博之

五十嵐 崇、籠島 彰人、藤宮 剛

横山 斉

13 Japan scoreからみた当施設の急性A型大動脈解離の外科治療成績

岩手県立中央病院 心臓血管外科

○小田 克彦、藤原 英記、坂爪 公

佐藤 卓、大浦 翔子、長嶺 進

14 大動脈解離発症に関わる気象要因および身体活動性についての検討

岩手医科大学 心血管・腎・内分泌内科

○肥田 親彦、蒔田 真司、玉田真希子

安孫子明彦、佐藤 権裕、中村 元行

同上 循環器内科 森野 禎浩

15 Kommerell憩室遠位端に狭窄を合併した左鎖骨下動脈起始異常の1例

山形県立中央病院

○橋本 直土、福井 昭男、菊池 順裕

田中 修平、木下 大資、山内 毅

菊地 翼、高橋 克明、高橋健太郎

玉田 芳明、松井 幹之、矢作 友保

後藤 敏和

肺高血圧症 他（第 1 会場） 11：15～11：43

座長 福本 義弘

- 16 9 年間のエポプロステノール治療後に門脈圧亢進症を呈した難治性肺動脈性肺高血圧症の 1 例

東北大学 循環器内科学 ○杉村宏一郎、青木 竜男、福本 義弘
三浦 裕、後岡広太郎、建部 俊介
山本 沙織、佐藤 公雄、下川 宏明

- 17 心疾患合併閉塞性睡眠時無呼吸症候群(OSAS)患者に導入したCPAP 治療のアドヒアランス
みやぎ東部循環器科 ○菊地 雄一、堀江 和紀、加畑 充

- 18 左反回神経麻痺を契機に診断された肺塞栓症の一例

仙台市立病院 循環器内科 ○小松 寿里、滑川 明男、八木 哲夫
石田 明彦、三引 義明、山科 順裕
佐藤 弘和、中川 孝、櫻本万治郎
佐藤 英二

- 19 抗凝固／血栓溶解療法とIVCフィルター留置中に重篤な再発性肺塞栓を生じたプロテイン S 欠乏症の 1 例

仙台市立病院 循環器内科 ○岩崎 夢大、八木 哲夫、滑川 明男
石田 明彦、三引 義明、山科 順裕
佐藤 弘和、中川 孝、櫻本万治郎
佐藤 英二、小松 寿里

虚血性心疾患Ⅰ（第2会場） 9：00～9：35

座長 伊藤 健太

20 動脈硬化性プラークの性差についての検討

仙台市医療センター 仙台オープン病院

○川口 朋宏、浪打 成人、杉江 正
佐治 賢哉、瀧井 暢、須田 彬
加藤 敦

21 右冠動脈起始異常を伴う冠動脈病変に対してPCIを施行した一例

石巻赤十字病院 循環器内科

○瀬津 俊介、小山 容、熊谷 遊
橋本 直明、玉渕 智昭、祐川 博康

22 脂質管理下における冠動脈プラークの経時的変化 —心臓CTを用いて—

町立羽後病院 内科

○加賀谷丈紘、松田 健一、安田 修
佐藤 裕太

23 心筋梗塞例における左室同期不全評価の意義

市立秋田総合病院 循環器内科

○中川 正康、鎌田ななみ、柴原 徹
藤原 敏弥

きびら内科クリニック

鬼平 聡

秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学

伊藤 宏

24 急速に増大した巨大仮性心室瘤の1例

国立病院機構 仙台医療センター 循環器内科

○菊地 佑樹、山口 展寛、尾形 剛
藤田 央、尾上 紀子、田中 光昭
石塚 豪、篠崎 毅

虚血性心疾患Ⅱ（第2会場） 9：35～10：10

座長 宮下 武彦

25 無症候性に二枝閉塞をきたしていた若年発症虚血性心筋症の一例

秋田組合総合病院 循環器科

○庄司 亮、阿部 起実、阿部 元
松岡 悟、田村 芳一、斉藤 崇

秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学

伊藤 宏

26 左冠動脈主幹部閉塞の急性心筋梗塞に対して補助循環を併用した緊急PCIにて救命し得た一例

秋田組合総合病院 循環器科

○庄司 亮、阿部 起実、阿部 元
松岡 悟、田村 芳一、斉藤 崇

秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学

伊藤 宏

27 多剤抗血小板薬中断後に発症したシロリムス溶出性ステント留置冠動脈2枝閉塞による心原性ショックの一例

星総合病院 循環器内科

○柳沼 和史、三浦 英介、清水 竹史
水野 裕之、清水 康博、松井 佑子
金子 博智、坂本 圭司、氏家 勇一
清野 義胤、木島 幹博、丸山 幸夫

28 シスプラチンによる動注化学療法後に発症した急性心筋梗塞の1例

国立病院機構 仙台医療センター 循環器内科

○尾形 剛、藤田 央、山口 展寛
尾上 紀子、田中 光昭、石塚 豪
篠崎 毅

同上 泌尿器科

吉川 和夫

29 Amplatzer septal occluderによる経カテーテル的閉鎖術を施行した心筋梗塞後心室中隔穿孔の一例

仙台厚生病院 心臓血管センター 循環器内科

○多田 憲生、滝澤 要、櫻井 美恵
大友 達志、大友 潔、鈴木 健之
森 俊平、上村 直、榎田 俊生
堀江 和紀、伊澤 毅、三宅 弘恭
箴井 宣任、井上 直人、目黒泰一郎

同上 心臓血管外科

柳沼 厳弥、畑 正樹

虚血性心疾患Ⅲ（第2会場） 10：10～10：45

座長 飯野 健二

30 ベアメタルステント留置4ヶ月後に遅発性ステント血栓症を来した1例

坂総合病院 循環器科 ○越川 智康、小幡 篤、渡部 潔
渋谷 清貴、佐々木伸也、濱田 一路
小鷹 悠二、望田 幸

31 シロリムス溶出ステント留置後にPeri-stent contrast staining (PSS) を伴い晩期再狭窄を来した2例

東北大学 循環器内科学 ○白戸 崇、高橋 潤、圓谷 隆治
高木 祐介、羽尾 清貴、伊藤 愛剛
松本 泰治、中山 雅晴、伊藤 健太
下川 宏明

32 冠攣縮誘発試験によらず多発性の冠攣縮を捉えたChurg-Strauss症候群の1例

岩手県立二戸病院 循環器内科
○鈴木 悠地、酒井 敏彰、西山 理
岩手医科大学 心血管・腎・内分泌内科
新山 正展、中村 元行
同上 循環器内科 伊藤 智範

33 抗リン脂質抗体症候群に合併した若年者の急性冠症候群の1例

国立病院機構 仙台医療センター
○押切みずず、田中 光昭、尾形 剛
藤田 央、山口 展寛、尾上 紀子
石塚 豪、篠崎 毅

34 多量の不安定プラークに対し、強力な脂質低下療法で短期間にプラーク退縮をみたAMIの一例

寿泉堂総合病院 循環器内科
○神 雄一郎、鈴木 智人、谷川 俊了
金澤 正晴

動脈疾患・静脈疾患（第2会場） 10：45～11：13

座長 齋藤 修一

35 腹痛で発症した上腸間膜動脈瘤破裂の一例

岩手県立中央病院

○阿部 秋代、中村 明浩、加賀谷裕太
神津 克也、佐藤謙二郎、中嶋 壮太
福井 重文、遠藤 秀晃、高橋 徹
野崎 英二

36 孤立性総腸骨動脈瘤に対しカバードステントによる血管内治療を施行した一例

仙台厚生病院 循環器科

○伊澤 毅、鈴木 健之、田中綾紀子
増田新一郎、笹井 宣任、三宅 弘恭
堀江 和紀、槇田 俊生、武蔵 美保
上村 直、櫻井 美恵、多田 憲生
森 俊平、本多 卓、大友 潔
滝澤 要、大友 達志、井上 直人
目黒泰一郎

37 重症肺血栓塞栓症(PE)に対する治療成績と外科的治療の予後

弘前大学 胸部心臓血管外科

○渡辺 健一、谷口 哲、福田 幾夫

38 腎静脈血栓症の一例

山形県立中央病院 内科

○山田 尚弘、木下 大資、田中 修平
菊池 順裕、橋本 直土、山内 毅
菊地 翼、高橋 克明、高橋健太郎
玉田 芳明、福井 昭男、矢作 友保
松井 幹之、後藤 敏和

不整脈Ⅰ（第3会場） 9：00～9：35

座長 鈴木 均

39 下部共通路を有する房室結節回帰性頻拍と房室回帰性頻拍が混在した1例

岩手医科大学 心血管・腎・内分泌内科

○肥田 親彦、小松 隆、佐藤 嘉洋
—小澤 真人、棚田 房紀、中村 元行

40 フレカイニド中毒により心室及び心房のペーシング閾値が上昇した一例

山形県立新庄病院

○坂下 徳、奥山 英伸、結城 孝一
廣野 摂

41 心房中隔穿刺の直後にST上昇を経て心室細動を合併した一例

山形大学 第一内科

○石垣 大輔、有本 貴範、沓沢 大輔
屋代 祥典、高橋 大、穴戸 哲郎
宮下 武彦、宮本 卓也、渡邊 哲
久保田 功

篠田総合病院 循環器内科

二藤部丈司

青山医院 循環器内科

青山 浩

42 CARTO sound下で後乳頭筋に拡張期電位が記録されたペラパミル感受性特発性心室頻拍の一例

仙台市立病院 循環器内科

○佐藤 英二、八木 哲夫、滑川 明男
石田 明彦、三引 義明、山科 順裕
佐藤 弘和、櫻本万治郎、中川 孝
小松 寿里、後藤 礼美

43 肺静脈内の細動が持続し肺静脈隔離に難渋した持続性心房細動の1例

秋田県成人病医療センター

○寺田 健、阿部 芳久、田代 晴生
寺田 茂則、佐藤 匡也、門脇 謙

秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学

田村 善一、小山 崇、伊藤 宏

不整脈Ⅱ（第3会場） 9：35～10：10

座長 有本 貴範

- 44 AVNRTに対する通電で誘発されなくなったATP感受性房室結節近傍起源心房頻拍の一例

岩手県立胆沢病院 ○八木 卓也、平野 道基、小野瀬剛生
野崎 哲司、中川 誠

- 45 ホルター心電図で多彩な心電図波形を呈した非通常型房室結節リエントリー性頻拍の一例

仙台市立病院 循環器内科 ○後藤 礼美、八木 哲夫、滑川 明男
石田 明彦、山科 順裕、佐藤 弘和
三引 義明、中川 孝

- 46 ペースメーカー植込み後にたこつぼ型心筋症を発症し心室リードの閾値上昇を認めた完全房室ブロックの一例

仙台市立病院 循環器内科 ○岩崎 夢大、八木 哲夫、滑川 明男
石田 明彦、三引 義明、山科 順裕
佐藤 弘和、櫻本万治郎、中川 孝
佐藤 英二、小松 寿里、後藤 礼美

- 47 ファロー四徴症術後に生じた広範囲な低電位領域が関与した非通常型心房粗動の一例

東北大学 循環器内科学 ○近藤 正輝、福田 浩二、若山 裕司
中野 誠、川名 暁子、長谷部雄飛
佐竹 洋之、下川 宏明

- 48 Electrical Stormにablationによる加療が有効であった心室頻拍の2症例

太田総合病院附属太田西ノ内病院
○野寺 穰、武田 寛人、金澤 晃子
石田 悟朗、遠藤 教子、武田 禎規
新妻 健夫、小松 宣夫、山本 晃裕
高橋 皇基、丹治 雅博
福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座
竹石 恭知

不整脈Ⅲ（第3会場） 10：10～10：52

座長 佐藤 嘉洋

49 ICD埋め込み7年後に心室細動を発症した無症候性ブルガダ症候群の一例

東北大学 循環器内科学 ○高橋 忠久、福田 浩二、若山 裕司
中野 誠、近藤 正輝、川名 暁子
長谷部雄飛、佐竹 洋之、下川 宏明

50 解剖学的位置関係を利用し、右心、左心双方からの治療が奏功したPVCの一例

東北大学 循環器内科学 ○中野 誠、福田 浩二、若山 裕司
近藤 正輝、長谷部雄飛、川名 暁子
モハメド アブデルシャフィー
下川 宏明

51 拡張型心筋症に伴う心室頻拍に対し冠静脈内からのアブレーションが有効だった1例

福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座
○神山 美之、鈴木 均、山田 慎哉
中里 和彦、斎藤 修一、竹石 恭知

52 アンカロンの長期内服により甲状腺機能亢進症をきたした肥大型心筋症の一例

岩手県立胆沢病院 ○八木 卓也、平野 道基、小野瀬剛生
野崎 哲司、中川 誠

53 イソプロテレノール負荷がdriver同定に有用であった上大静脈起源発作性心房細動の1例

弘前大学 循環呼吸腎臓内科学
○堀内 大輔、石田 祐司、伊藤 太平
佐々木憲一、大和田真玄、木村 正臣
佐々木真吾、奥村 謙

54 アミオダロン内服中に甲状腺中毒症を呈した2例

日本海総合病院 循環器内科
○齋藤 博樹、豊島 拓、高橋 徹也
桐林 伸幸、近江 晃樹、金子 一善
菅原 重生

心内膜炎（第3会場） 10：52～11：20

座長 長内 智弘

55 当院における感染性心内膜炎29症例の検討

坂総合病院 循環器科 ○小鷹 悠二、小幡 篤、渡部 潔
渋谷 清貴、佐々木伸也、濱田 一路
越川 智康、望田 幸

56 三尖弁の贅腫と多発性空洞性肺病変を伴う感染性心内膜炎(IE)を発症したアトピー性皮膚炎の若年男性の一例

岩手県立中部病院 循環器内科
○土岐 祐介、芳沢 礼佑、織笠 俊樹
盛川 宗孝、齊藤 秀典、八子多賀志

57 ICDリードの導線露出に加え、感染性心内膜炎を合併し、リード抜去に至った一例

石巻赤十字病院 循環器内科
○熊谷 遊、玉渕 智昭、橋本 直明
禰津 俊介、小山 容、祐川 博康

58 アトピー性皮膚炎から発症した心室中隔欠損閉鎖パッチ部に付着する疣贅を認めた感染性心内膜炎の一例

仙台厚生病院 循環器内科
○井筒 大人、増田新一郎、田中綾紀子
箴井 宣任、三宅 弘恭、伊澤 毅
槇田 俊生、上村 直、櫻井 美恵
多田 憲生、森 俊平、鈴木 健之
本多 卓、大友 潔、滝澤 要
大友 達志、井上 直人、阿部 和男
畑 正樹、柳沼 厳弥、目黒泰一郎

弁膜症・心奇形（第4会場） 9：00～9：35

座長 宮脇 洋

59 重症大動脈弁狭窄症に対して順行性経皮の大動脈弁形成術を施行した一例

福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座

○中村 裕一、国井 浩行、益田 淳朗
及川 雅啓、中里 和彦、鈴木 均
斎藤 修一、竹石 恭知

60 原因不明な僧帽弁尖の間欠的接合不全により急性左心不全を呈した一例

太田総合病院附属太田西ノ内病院

○金澤 晃子、武田 寛人、野寺 穰
石田 悟朗、遠藤 教子、武田 禎規
新妻 健夫、小松 宣夫、山本 晃裕
高橋 皇基、丹治 雅博

福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座

竹石 恭知

61 Quadricuspid aortic valve with four equal cuspsの1例

栗原市立栗原中央病院

○千葉 貴彦、赤井健次郎、小松 誠司

62 左室心筋緻密化障害との鑑別が困難であった修正大血管転位症の1例

東北大学 循環器内科学

○大槻 知広、建部 俊介、福本 義弘
杉村宏一郎、三浦 裕、後岡広太郎
青木 竜男、下川 宏明

63 上行大動脈の拡大、屈曲と卵円孔開存が原因のPlatypnea-Orthodeoxia Syndromeに経皮的閉鎖術を施行した一例

仙台厚生病院

○富樫 大輔、多田 憲生、滝澤 要
桜井 美恵、大友 達志、大友 潔
鈴木 健之、森 俊平、上村 直
武蔵 美保、槇田 俊生、堀江 和紀
伊澤 毅、三宅 弘恭、箴井 宣任
増田新一郎、加畑 充、水谷有克子
井筒 大人、田中綾紀子

心筋炎・心筋症Ⅰ（第4会場） 9：35～10：17

座長 花田 裕之

64 完全房室ブロックを合併したサルコイドーシスの補助診断にFDG-PETが有効であった一例

白河厚生総合病院 第2内科

○佐藤 彰彦、斎藤 富善、泉田 次郎
斎藤 恒儀、前原 和平

65 家族性多発嚢胞腎に拡張型心筋症を合併した1例

国立病院機構 仙台医療センター 循環器内科

○澁井 彩、尾上 紀子、尾形 剛
藤田 央、山口 展寛、石塚 豪
田中 光昭、篠崎 毅

66 たこつぼ型心筋障害様の左室壁運動異常を呈したマムシ咬傷の一例

秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学

○佐藤 和奏、石田 大、木村 俊介
渡邊 博之、伊藤 宏

67 房室結節アブレーションとペースメーカー植込み術を行った閉塞性肥大型心筋症の一例

山形県立中央病院

○山内 毅、福井 昭男、菊池 順裕
田中 修平、橋本 直土、木下 大資
菊地 翼、高橋 克明、高橋健太郎
玉田 芳明、矢作 友保、松井 幹之
後藤 敏和

68 診断早期のステロイド治療により多彩な全身所見の改善が得られたサルコイドーシスの一例

弘前大学 循環呼吸腎臓内科

○西崎 公貴、佐々木真吾、佐々木憲一
堀内 大輔、大和田真玄、木村 正臣
奥村 謙

69 鎮痛薬投与後に発症した逆たこつぼ型心筋症の1例

福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座

○菅野 優紀、小林 淳、横川 哲朗
水上 浩行、中里 和彦、鈴木 均
斎藤 修一、竹石 恭知

心筋炎・心筋症Ⅱ（第4会場） 10：17～10：59

座長 野崎 英二

70 Guillain-Barre症候群に合併したたこつぼ型心筋症の一例

仙台厚生病院 循環器内科 ○石井 和典、櫻井 美恵、加畑 充
増田新一郎、箴井 宣任、三宅 弘恭
伊澤 毅、松本 崇、堀江 和紀
榎田 俊生、武蔵 美保、上村 直
多田 憲生、森 俊平、鈴木 健之
本田 卓、大友 潔、滝澤 要
大友 達志、井上 直人、目黒泰一郎

71 家族歴と臨床所見で疑った女性Fabry病の一例

八戸赤十字病院 循環器内科
○安岡 辰雄、後藤 巖、肥田 龍彦
菅原 正磨
岩手医科大学 心血管・腎・内分泌内科
佐藤 衛

72 心筋に限局するALアミロイドーシスの1例

岩手県立胆沢病院 循環器科
○小野瀬剛生、平野 道基、八木 卓也
野崎 哲司、中川 誠

73 たこつぼ心筋症様の病態を呈した周産期心筋症の一例

福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座
○三浦 俊輔、杉本 浩一、渡邊 俊介
鈴木 聡、坂本 信雄、鈴木 均
斎藤 修一、竹石 恭知

74 アレルギー性肉芽腫性血管炎による好酸球性心筋症の一例

東北大学 循環器内科学 ○桃野 友太、圓谷 隆治、高橋 潤
羽尾 清貴、伊藤 愛剛、白戸 崇
松本 泰治、中山 雅晴、伊藤 健太
下川 宏明

75 左室壁肥厚に関する敏感な心電図指標について

齋藤病院 内科 ○盛田 真樹、白土 邦男

心不全 他（第4会場） 10：59～11：34

座長 渡邊 博之

76 原発性副甲状腺機能亢進症に合併した心不全の一例

東北大学 循環器内科学 ○高橋 秀徳、青木 竜男、福本 義弘
杉村宏一郎、後岡広太郎、三浦 裕
建部 俊介、山本 沙織、下川 宏明
坂総合病院 循環器科 渋谷 清貴

77 左室拡張障害の悪化が心不全増悪因子と考えられた高齢左室緻密化障害の1例

医療法人青山医院 ○青山 浩
山形大学 第一内科 石垣 大輔、沓沢 大輔、田村 晴俊
西山 悟史、有本 貴範、渡邊 哲
久保田 功

78 神経性食思不振症の治療中にうっ血性心不全を併発した一症例

日本海総合病院 循環器内科
○高橋 徹也、近江 晃樹、豊島 拓
齋藤 博樹、桐林 伸幸、金子 一善
菅原 重生
山形大学 第一内科 久保田 功

79 当院における高齢者に対するサムス力使用経験

岩手県立中央病院 ○佐藤謙二郎、阿部 秋代、加賀谷裕太
神津 克也、中嶋 壮太、福井 重文
遠藤 秀晃、高橋 徹、中村 明浩
野崎 英二

80 当院における心肺停止蘇生後低体温療法の検討

平鹿総合病院 循環器内科 ○宇塚 裕紀、深堀 耕平、相澤健太郎
武田 智、菅井 義尚、伏見 悦子
高橋 俊明、関口 展代

YIA審査会 10:40～11:15

心肺蘇生法普及委員会 11:20～11:30

総会・YIA授賞式 11:55～12:35

教育セッション1

ランチョンセミナー1 12:40～13:40 (第1会場: 2F 橘)

座長: 秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学 教授 伊藤 宏 先生

「慢性心不全での利尿薬使用を再考する～J-MELODIC試験結果を受けて～」

大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻機能診断科学 教授 中谷 敏 先生

共催: 第155回日本循環器学会東北地方会
㈱三和化学研究所

教育セッション2

ランチョンセミナー2 12:40～13:40 (第2会場: 2F 萩)

座長: 福島県立医科大学 循環器・血液内科学 教授 竹石 恭知 先生

「メトホルミン療法のコツと注意点: 糖尿病医からのメッセージ」

自治医科大学 内分泌代謝科 准教授 長坂 昌一郎 先生

共催: 第155回日本循環器学会東北地方会
大日本住友製薬㈱

教育セッション3

特別講演 13:40～14:40 (第1会場: 2F 橘)

座長: 山形大学 内科学第一講座 教授 久保田 功 先生

「PET検査の循環器領域への応用—血流定量評価から分子機能解析まで—」

北海道大学 病態情報学講座 核医学分野 教授 玉木 長良 先生

共催: 第155回日本循環器学会東北地方会
富士フィルムRIファーマ㈱

一般社団法人日本循環器学会東北支部規則

（総 則）

第1条 この会は一般社団法人日本循環器学会東北支部（以下「本支部」という。）と称し、一般社団法人日本循環器学会（以下「日本循環器学会」という。）の支部とする。

（事務局）

第2条 本支部の事務局は、東北大学大学院医学系研究科循環器内科学に置く。

（目的および事業）

第3条 本支部は日本循環器学会の目的達成のため次の事業を行う。

- 1) 東北支部における年2回の学術集会（地方会）の開催
- 2) 日本循環器学会本部からの委託事項の処理
- 3) 日本循環器学会国際トレーニングセンター（JCS-ITC）としての東北支部における講習会等の開催
- 4) その他目的の達成に必要な事業

（会 員）

第4条 本支部の会員は、勤務先または居住地が日本循環器学会定款施行細則第16条に定める東北地区にある日本循環器学会の会員とする。

2. 本支部に名誉支部員・名誉特別会員を置く。

- 1) 名誉支部員は年齢65歳以上の会員で、支部評議員を3期以上務めた者とする。
総会に出席して意見を述べるができるが、議決権は有しない。
- 2) 名誉特別会員は名誉支部員の条件に加え、東北地方会で会長を務めた者、支部長を務めた者とする。処遇については、名誉支部員に準用する。

（社員の選出）

第5条 日本循環器学会本部からの委託により、本支部にて日本循環器学会の社員を選出する。

2. 選出する社員数は、日本循環器学会から指定された数とする。
3. 選挙権および被選挙権をもつものは、本支部の会員とする。

（支部選挙管理委員会）

第6条 本支部に東北支部選挙管理委員会（以下「選挙管理委員会」という。）を置き、社員選出手続きを担当する。

2. 選挙管理委員会の委員長は、支部監事または支部幹事から選出し、支部総会で選任する。
3. 選挙管理委員は、会員から選出し、支部総会で選任する。
4. 選挙管理委員長は、選挙結果を支部総会および日本循環器学会に報告する。

（社員選出方法）

第7条 第6条に定める社員は、第4条に定める会員の無記名投票により選出する。

2. 会員一人につき、一個の投票権とする。
3. 各都道府県毎の最多得票者を当選者として選出した後、全地区を対象として得票数の多い順から、第5条第2項に定める選出すべき数までを当選者とする。

(社員の補充)

第8条 日本循環器学会から社員補充の依頼があった場合は、選挙管理委員会が直前の選挙結果に基づき得票数の多い順から補充すべき数までを社員として補充する。

2. 前項の規程に関わらず、前条第3項の都道府県条件を満たさない場合には、その条件を優先して補充する。

(支部評議員)

第9条 本支部に支部評議員若干名を置くことができる。

2. 支部評議員は、下記の規則に基づいて会員から選出し、支部総会で選任する。
3. 支部評議員の選出・辞職についての規程は、別に定める。
 - 1) 支部評議員の推薦を希望する者は、推薦理由と推薦される者の略歴を支部長に提出する。推薦の資格を有する者は本支部の日本循環器学会社員とする。
 - 2) 任期途中で支部評議員の辞職を希望する者は、理由を記した書面を支部長に提出する。
 - 3) 支部評議員の辞職および推薦は、支部総会の同意を必要とする。
4. 支部評議員は、総会を組織し、支部長の求めに応じて支部の運営についての諮問を行う。
5. 支部評議員の任期は4年とし、再任はさまたげない。役員に欠員が生じた場合は速やかに補充し、その任期は前任者の残任期間とする。

(支部長)

第10条 本支部に支部長1名を置く。

2. 支部長は日本循環器学会理事から選出し、支部総会において選任する。
3. 支部長は支部を統括する。
4. 支部長の任期および定年については、日本循環器学会定款および定款施行細則に準ずる。

(支部幹事)

第11条 本支部に支部幹事若干名を置く。

2. 支部幹事は会員から支部総会において選任する。
3. 支部幹事は支部長を補佐し、支部運営にあたる。
4. 支部幹事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

(支部監事)

第12条 本支部に支部監事若干名を置く。

2. 支部監事は会員から支部総会において選任する。
3. 支部監事は支部の事業および会計について監査を行い、不正の事実があれば支部総会あるいは日本循環器学会に報告する。
4. 支部監事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

(地方会会長)

第13条 本支部に地方会会長1名を置く。

2. 地方会会長は会員から支部総会において選任する。
3. 地方会会長は地方会を主催し、その経理および事業内容を支部長に報告する。
4. 地方会会長の任期は、直前の地方会終了日の翌日から主催地方会終了日までとする。

(支部総会)

第14条 支部総会は、日本循環器学会の社員および支部で選出した支部評議員で構成する。

2. 支部総会は年1回以上開催し、以下の事項を審議する。

- 1) 地方会会長の選出
- 2) 地方会開催地の決定
- 3) 支部事業計画および事業報告
- 4) 社員および支部評議員の選出
- 5) 本会規則の変更
- 6) その他本会の運営に必要な事項

3. 支部総会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは、支部監事が招集する。この場合、議長は支部総会議員の互選により選出する。

4. 支部総会は、支部総会議員の過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部会員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。

5. 支部総会の議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(運営資金)

第15条 この支部の運営には次の資金を充てる。

- 1) 本部から助成される運営費
- 2) 地方会参加費
- 3) 事業に伴う収入
- 4) 寄付金
- 5) その他収入

(会計年度)

第16条 この支部の会計年度は、日本循環器学会定款に準ずる。

附 則

1) この規則は、平成24年4月1日から施行する。

2) 学術集会に演題を提出する者は原則として日本循環器学会に入会しなければならない。ただし支部長が許可した場合はその限りではない。

日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award会則

1. 日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会Young Investigator's Award」（東北地方会YIA）を設ける。
2. 本会則は平成21年2月14日に開催される第147回東北地方会から有効とし、本会則の変更は総会で審議・決定される。
3. 東北地方会YIAの応募資格、応募方法は演題応募要領に記載するが、地方会主催の当番校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。
4. YIA選考委員会は大会長を選考委員長として、各県大学の循環器内科教授6名と大会長が選出する6名の選考委員の計12名で構成される。選考委員の代理を置く場合は、大会長の推薦を必要とする。

第155回日本循環器学会東北地方会YIA審査委員（敬称略）

青森

弘前大学 循環呼吸腎臓内科学
青森県立中央病院

教 授 奥村 謙
循環器センター長 藤野 安弘

岩手

岩手医科大学 循環器・腎・内分泌内科分野
岩手県立中央病院

教 授 中村 元行
循環器センター長 中村 明浩

秋田

秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学
秋田組合総合病院

教 授 伊藤 宏
副院長 齊藤 崇

山形

山形大学 内科学第一講座
篠田総合病院 循環器科

教 授 久保田 功
医 長 池田こずえ

宮城

東北大学 循環器内科学
国立病院機構 仙台医療センター 循環器科

教 授 下川 宏明
循環器科部長 篠崎 毅

福島

福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座
大原総合病院附属大原医療センター 循環器内科

教 授 竹石 恭知
院長代理 石橋 敏幸

日本循環器学会東北支部役員

(平成24年 9 月 1 日現在)

支 部 長	下川 宏明			
理 事	下川 宏明	伊藤 宏		
名誉特別会員	白土 邦男	平 則夫	平盛 勝彦	
	丸山 幸夫	三浦 傳		
名 誉 支 部 員	芦川 紘一	池田 精宏	石出 信正	
	伊藤 明一	猪岡 英二	今井 潤	
	大友 尚	大和田憲司	小野 幸彦	
	小岩 喜郎	佐々木 弥	鈴木 典夫	
	高橋 恒男	高松 滋	立木 楷	
	田中 元直	田巻 健治	津田 福視	
	布川 徹	星野 俊一	三浦 幸雄	
	室井 秀一	元村 成	盛 英機	
	保嶋 実	横山 紘一		

支部評議員 (各県ごと五十音順、○印は社員)

青 森	○奥村 謙	長内 智宏	花田 裕之
	平賀 仁	福田 幾夫	藤野 安弘
	三国谷 淳	森 康宏	
岩 手	伊藤 智範	岡林 均	小松 隆
	佐藤 衛	瀬川 郁夫	田代 敦
	○中村 元行	那須 雅孝	蒔田 真司
	茂木 格	森野 禎浩	
秋 田	阿部 芳久	○伊藤 宏	門脇 謙
	小林 政雄	齊藤 崇	佐藤 匡也
	鈴木 泰	田村 芳一	中川 正康
	長谷川仁志	山本 文雄	○渡邊 博之
山 形	池田こずえ	石井 邦明	小熊 正樹
	金谷 透	○久保田 功	後藤 敏和
	齋藤 公男	貞弘 光章	角田 裕一
	廣野 摂	福井 昭男	松井 幹之
	宮脇 洋	○渡邊 哲	

宮 城	○伊藤 健太	○伊藤 貞嘉 3	井上 直人
	加賀谷 豊	金塚 完	上月 正博
	小丸 達也	○齋木 佳克 1	西條 芳文
	坂田 泰彦	佐藤 昇一	○下川 宏明
	○富岡 智子 2	○福本 義弘	堀内 久徳
	柳澤 輝行	山家 智之	
福 島	青木 孝直	石川 和信	石橋 敏幸
	金澤 正晴	木島 幹博	○齋藤 修一
	斎藤 富善	杉 正文	○竹石 恭知
	武田 寛人	前原 和平	○横山 齐 1
	渡辺 毅		
会計監事	石出 信正	猪岡 英二	
幹 事	福本 義弘	伊藤 健太	福田 浩二

1. 外科分野 2. 女性分野 3. その他の分野

DVDセッション 「医療安全・医療倫理に関する講演会」

専門医の認定更新に必修の「医療安全・医療倫理に関する研修」に関する2単位を取得できるDVDセッションを開催致します。

3月の日本循環器学会学術総会もしくはインターネットでも視聴できます。
詳細は以下をご覧ください。

循環器専門医認定年度と必修研修取得期間について

認定年度	最新の認定 or 更新年度	現在の認定期間	必修研修取得期間
1993	2008年度	2008／4／1～ 2013／3／31	同 左
1998			
2003			
2008			
1994	2009年度	2009／4／1～ 2014／3／31	同 左
1999			
2004			
2009			
1990	2010年度	2010／4／1～ 2015／3／31	同 左
1995			
2000			
2005			
2010			
1991	2011年度	2011／4／1～ 2016／3／31	同 左
1996			
2001			
2006			
2011			
1992	2007年度	2007／4／1～ 2012／3／31	同 左
1997			
2002			
2007			
2012			

<必修研修と単位数>

専門医制度委員会、理事会、2009年3月20日の評議員会の審議を経て循環器専門医認定更新の際に所定の研修が必修となりました。

専門医認定更新には下記の必修研修単位を含む合計50単位が必要となります。

(1) **最新医療の知識習得に関する研修……30単位以上**

日本循環器学会主催の学術集会・地方会（いずれも教育セッションを含む）への参加にて単位を取得してください。

該当の研修単位数…本会年次学術集会10単位、(学術集会時の)教育セッション5単位、各地方会5単位、(地方会時の)教育セッション3単位

(2) **医療安全・医療倫理に関する研修……2単位以上**

本会学術集会または本会地方会で開催の「医療安全・医療倫理に関する講演会」への参加。あるいはインターネットでの視聴研修プログラムによる研修で単位を取得してください。

単位数……（上記どの方法で取得されても）2単位

※同じ研修内容を視聴された場合には重複して単位は加算されませんのでご注意ください。

お問い合わせ先：(社)日本循環器学会 専門医制度委員会 TEL：075-257-5830 E-mail：senmoni@j-circ.or.jp
